

臨床研修センターだより



Vol.18 2015.8.31

～医学生向け 夏の病院見学プログラムを開催しました～

7月22日から8月27日の約1ヶ月、2日間の日程で9回開催した医学生向け病院見学プログラムが無事終了しました。8月21日に実施された初期臨床研修医選考試験では、医科の受験者の半数近くが、一昨年、昨年の病院見学プログラムに参加された学生さん達でした。病院見学プログラムへの参加が、当院での初期研修を志望するきっかけの一つになっていたとしたら、大変嬉しく思います。

プログラムでは、初日は当院の初期研修システム紹介・上級医や初期研修医からのミニレクチャー・初期研修医同行、2日目は診療科見学を体験して頂きました。至らないことも色々あったと思いますが、貴重な夏休みの2日間を当院で過ごされた学生の皆様へ心よりお礼申し上げます。また、84名の学生さん達を温かく迎えて下さった初期研修医を始め臨床研修センタースタッフ、各診療科の皆様、お忙しいところご対応頂き有難うございました。次回は12月開催予定です。
(臨床研修センター事務 安部かおり)

～平成27年度 夏の病院見学プログラム まとめ～

★参加人数：84名

★学年別参加人数：6年 4名 5年 77名 4年 3名

★男女別参加人数：男性 53名 女性 31名

★参加者大学：札幌医科大学、東北大学、東京大学、日本医科大学、埼玉医科大学、新潟大学、金沢大学、福井大学、岐阜大学、浜松医科大学、名古屋大学、名古屋市立大学、三重大学、滋賀医科大学、京都大学、京都府立医科大学、大阪大学、大阪市立大学、関西医科大学、大阪医科大学、神戸大学、兵庫医科大学、奈良県立医科大学、岡山大学、広島大学、島根大学、山口大学、徳島大学、愛媛大学、九州大学、佐賀大学、長崎大学、鹿児島大学、宮崎大学、琉球大学

★参加者2日目見学診療科：循環器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、神経内科、消化器内科、血液内科、小児科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、眼科、麻酔科、救急部、総合診療科、感染症科



上級医からのミニレクチャー



初期研修医同行



初期研修医からのミニレクチャー

「初期研修医からのミニレクチャー」は初期研修医2年次が担当します。毎年、病院見学プログラム担当の臨床研修センタースタッフ・蛭名先生から指名されることが恒例となっていて、蛭名先生から声がかかるのを心待ちにしている初期研修医もいるようです…！今年の夏は8名が担当し、それぞれが工夫を凝らした楽しいミニレクチャーをしてくれました。

～第1回～

- ・溶連菌性咽頭炎のみかた
- ・研修病院の選び方

(大森彩加)



1年次が
聴講する
ことも。

研修医レクチャー



初期研修医2年次
吉田一史

～第2回～

- ・研修医の勉強スタンス
- 「頭部CTは必要か」
- ・病院見学何をみる??

(吉田一史)



～第4回・第7回～

- ①良い研修とはなんでしょう
- ②知っておくと便利な、臨床推論の話
- ③今後病院を見学するにあたって

(藤野雄三)



～第5回～

本日の時間割

- ・朝の会
- ・1時間目：社会
- ・2時間目：体育
- ・昼休み
- ・3時間目：国語
- ・4時間目：自習
- ・終わりの会



(山下裕加)

～第6回～



- ・小児科のおはなし
- ・ERでよくみる典型例をあなたに…

(宮田達弥)

～第9回～



- 酸塩基平衡
- 血液ガスを読めるようになろう！

(安積佑太)

～第8回～

- 初期研修病院を
- 満足して選ぶために



(山内頼友)

～第10回～

- ・アナフィラキシー
- ・僕のマッチング



(中村和史)

～病院見学プログラムに参加された学生さんからお便りを頂きました～



2日間のプログラムを組んでの病院見学は初めてで、参加するまではどのような感じなのか緊張していましたが、実際に過ごしてみると、病院全体や地域のことから、病棟・外来の雰囲気にいるまでをバランスよく見学させて頂き、とても充実した時間を過ごすことができました。また、実際に研修医の先生方が生き生きと働かれているのを見て、貴院で研修させて頂きたいという気持ちが高まりました。(一部抜粋)

～初期臨床研修医・歯科研修医選考試験 面接試験を担当して～

私は長年医療に携わってきた中で、仕事は「何をするか」ということ以上に「誰とするか」が大切だと思うようになってきました。その意味において、初期臨床研修医は私たちの医療チームの重要な一員ですので、「一緒に働きたい」と思えるような多くの志望者と、今回お話ができて嬉しく感じました。

当院のような大規模急性期型病院では、多くの貴重な症例が経験できる一方で、患者に寄り添う研修ではなく症例をこなす研修になりがちです。だからこそ、患者に寄り添う心を持った研修医でいてほしいですし、面接試験が存在する意義もそこにあるのではないかと個人的には思っています。一人一人とお話できる時間は大変短かったのですが、その中でも当院の急性期型病院であるが故の、研修上の問題点を指摘された志望者が複数名いらっしゃったことが、印象的でした。来年春に誰と再会できるのか、今から楽しみにしています。

(小児科・臨床研修センター副センター長 上村克徳)



上村先生(写真左)、8・9月小児科をローテート中の初期研修医2年次
山下先生(写真右)

夏の思い出

7月のある日曜日。初期研修医1年次が忙しい合間を縫って集まり、明石の大蔵海岸でバーベキューをしました。



「とっても楽しい1日でした！」 (伊藤純子)



新・臨床研修センタースタッフの「ひとこと」

忙しい研修生活の中で皆さんは自覚されることは少ないかもしれませんが、今年の夏は本当に暑いですね。それすら知らないような人は意識的に病院外に出ることを意識した方がいいかもしれません(笑)ただ、日焼けしすぎると患者さんに突っ込まれるのでほどほどに…。当院のプログラムは自由にローテーションを組めるからこそ選択を悩むことが多いと思います。ただ、修練医になった後の今思うことは、2年間の研修で無駄になったことは全くなかったということです。医師である以上専門の科以外のことで診ないといけないので、幅広い視点で有意義な研修生活を送って下さい。P.S. また研修医達と飲みたいので誘って下さい!

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科 山本亮介)



8/12(水) 耳鼻科救急ハンズオンセミナー

「咽頭ファイバー」「鼻出血止血」「カニューレ」

初期研修医16名が参加し、山本先生(写真左)

を始め耳鼻科の先生方からご指導頂きました。